

木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会 第20回資料

淀川水系桂川上流圏域

(事業投資効果)

平成30年1月22日
京都府

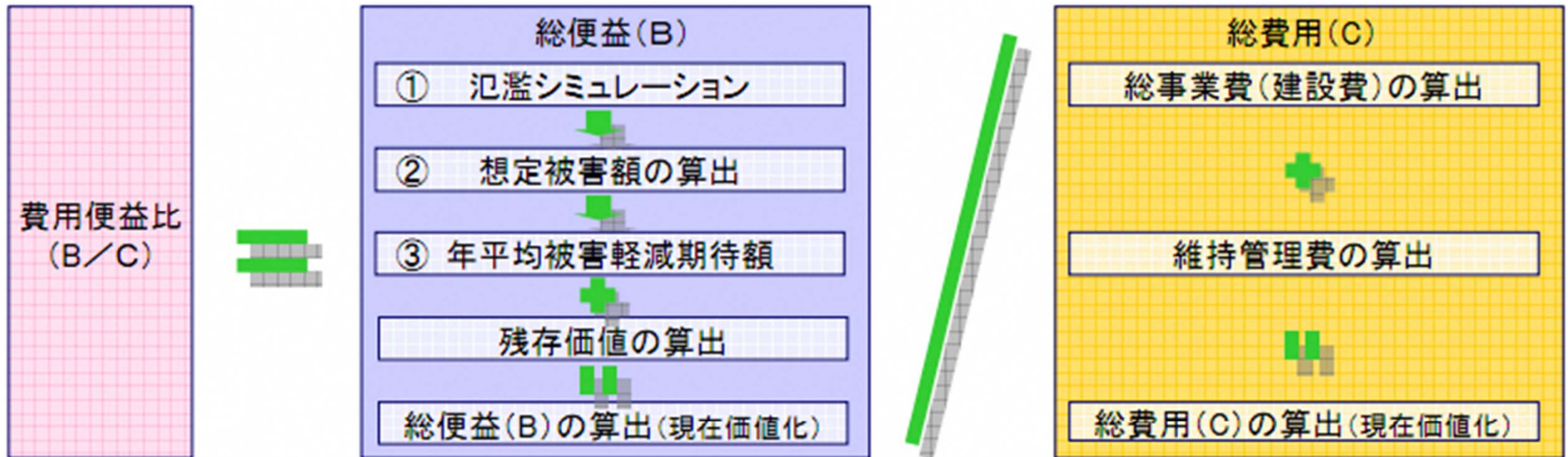
事業の投資効果について

上段: 全体事業
(下段: 残事業)

河川名	整備内容		費用対効果		
	整備目標	メニュー	B 総便益 (億円)	C 総費用 (億円)	B/C 費用対効果
桂川本川	昭和28年台風13号 と同規模の洪水 (概ね1/30)	河道掘削、霞堤の嵩上げ、堤防強化 橋梁改築、支川の背水区間の築堤等	1,702.9 (211.7)	978.0 (116.1)	1.7 (1.8)
桂川(上)	1/10規模	河道掘削	1,397.2 (77.6)	323.9 (17.6)	4.3 (4.4)
雑水川		河道掘削・拡幅、橋梁改築	79.7 (33.6)	27.1 (11.6)	2.9 (2.9)
七谷川		築堤、河道掘削・拡幅、橋梁改築 取水施設等の改築、天井川区間の切り下げ	28.5 (28.5)	19.6 (19.6)	1.5 (1.5)
犬飼川		築堤、河道掘削、橋梁改築	5,090.8 (248.4)	103.5 (4.8)	49.2 (51.4)
法貴谷川		河道掘削・拡幅、橋梁改築 河川の付け替え	263.2 (91.9)	39.7 (4.9)	6.6 (18.6)
千々川		河道掘削・拡幅、橋梁改築	74.4 (6.5)	68.5 (5.1)	1.1 (1.3)
東所川		河道掘削、橋梁改築、樋門改築 河川の付け替え	433.7 (180.7)	25.7 (8.8)	16.9 (20.5)
園部川		河道掘削・拡幅、橋梁改築、井堰改築	408.4 (101.6)	164.1 (40.9)	2.5 (2.5)
天神川	1/5規模	河道掘削・拡幅、橋梁改築	165.5 (57.1)	57.3 (19.9)	2.9 (2.9)
陣田川		河道掘削・拡幅、橋梁改築、井堰改築	118.3 (37.8)	34.3 (11.3)	3.5 (3.3)

※費用対効果は、治水経済調査マニュアルに基づく現在価値化した総便益Bと総費用Cから算出している。

事業の投資効果について



評価時点 : H29年を評価時点とし、整備期間+施設完成後50年間を評価対象期間とする。

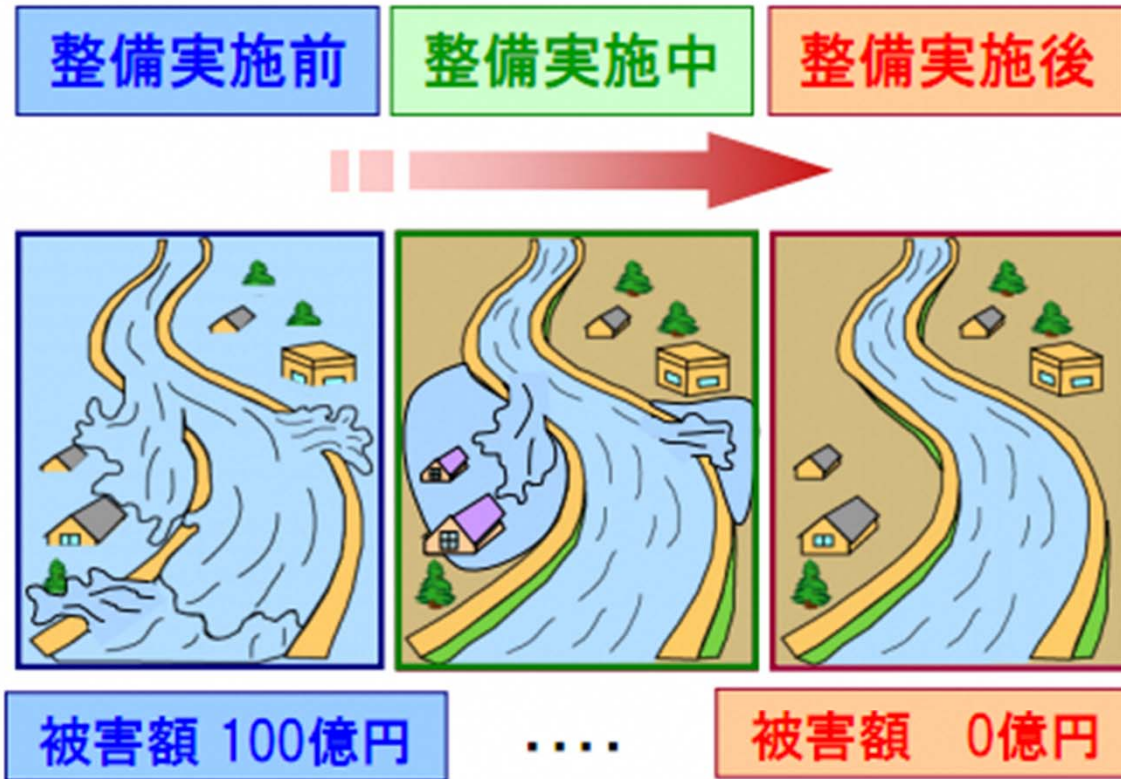
現在価値化 : 総費用(B)、総便益(C)は、いずれも社会的割引率(4.0%)により現在価値化した額の総和とする。

残存価値 : 便益には整備した施設の残存価値(50年後の価格)を含む。

事業の投資効果について

整備期間中の治水施設の整備によって**便益が発生する**と考えられる事業については、整備期間中の施設の整備による便益を時系列的に把握し、評価を行う。

・整備効果



100億円の被害軽減

・便益の発生

